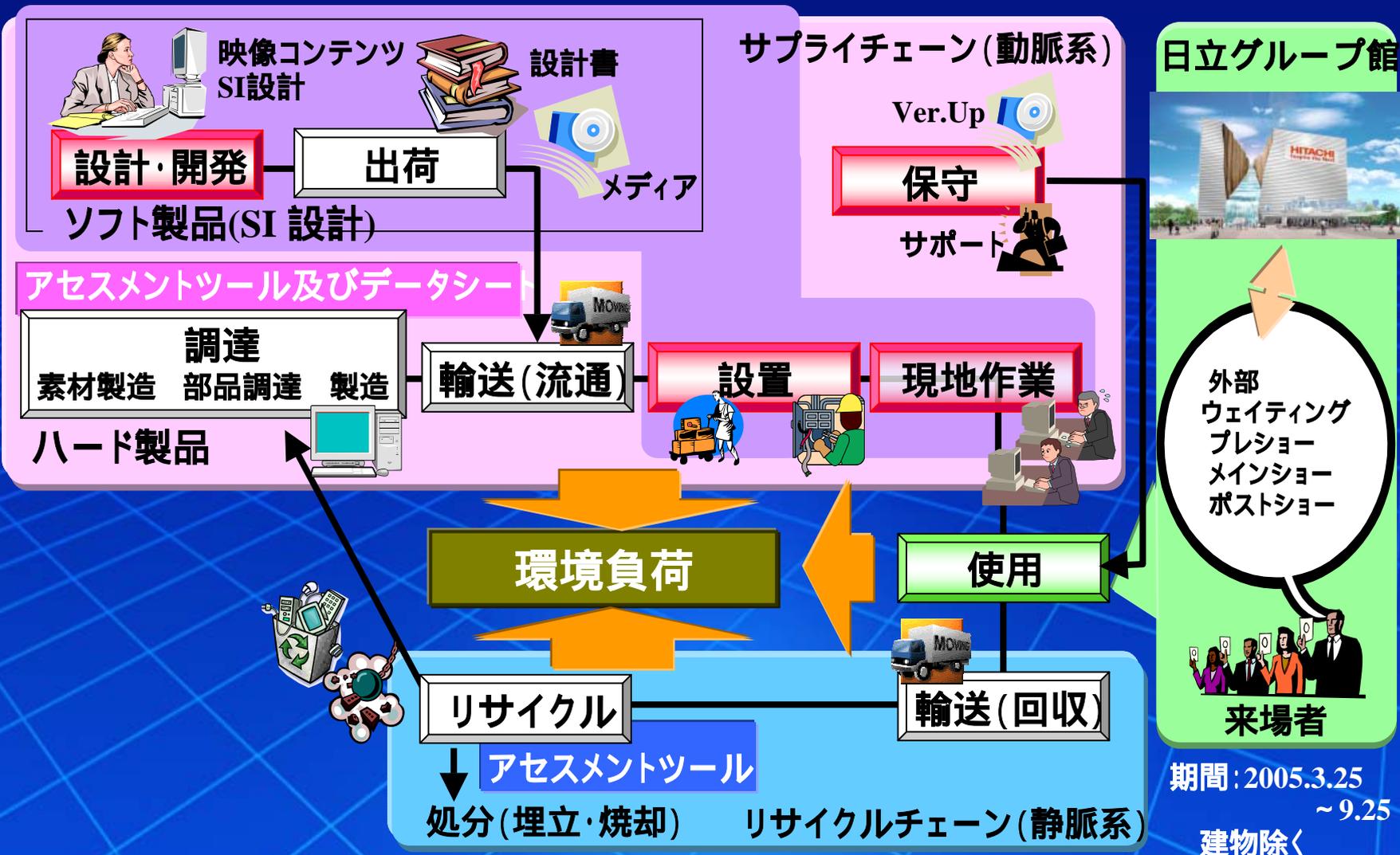
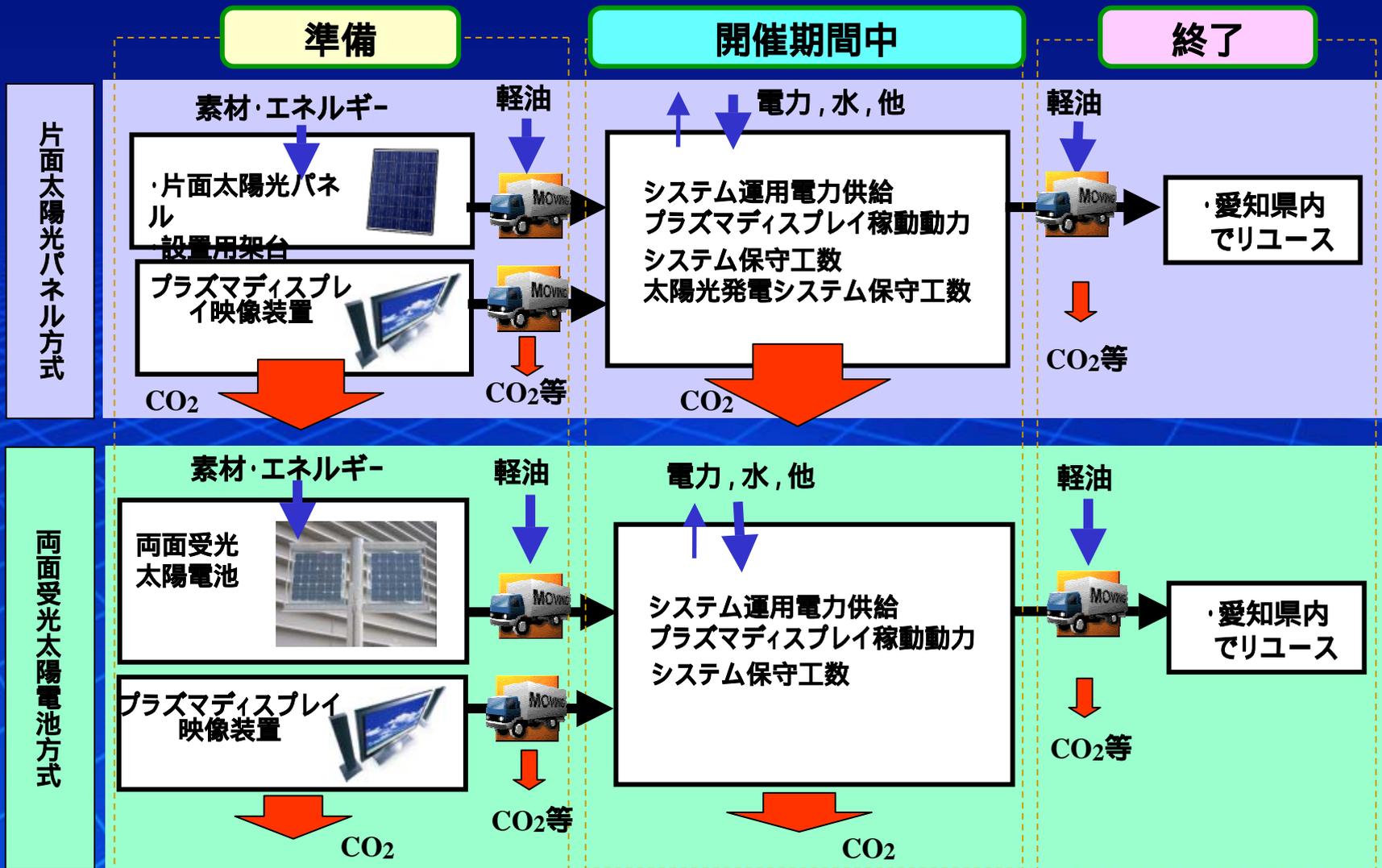


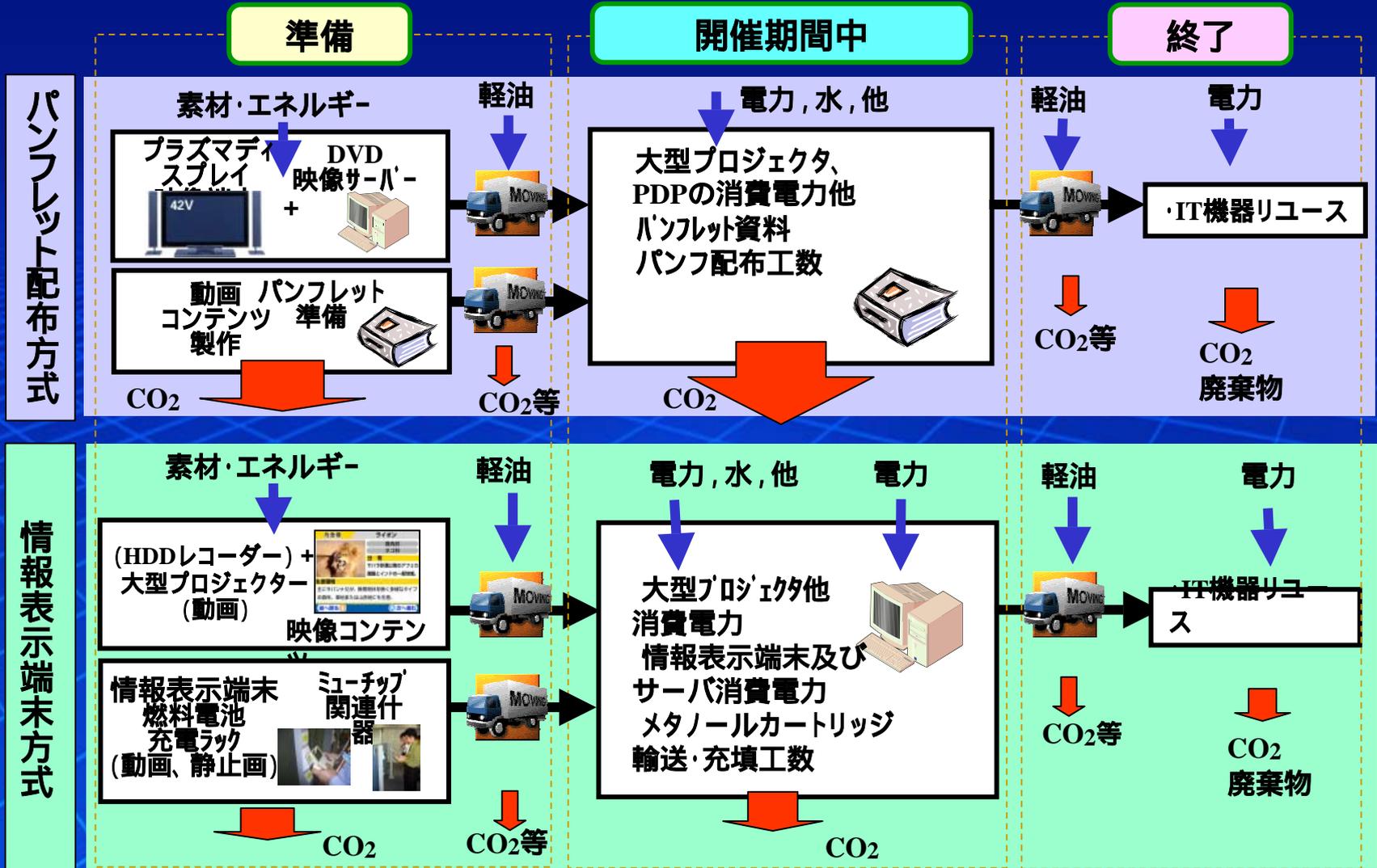
SI-LCAのライフサイクルモデル(評価対象ステージ)



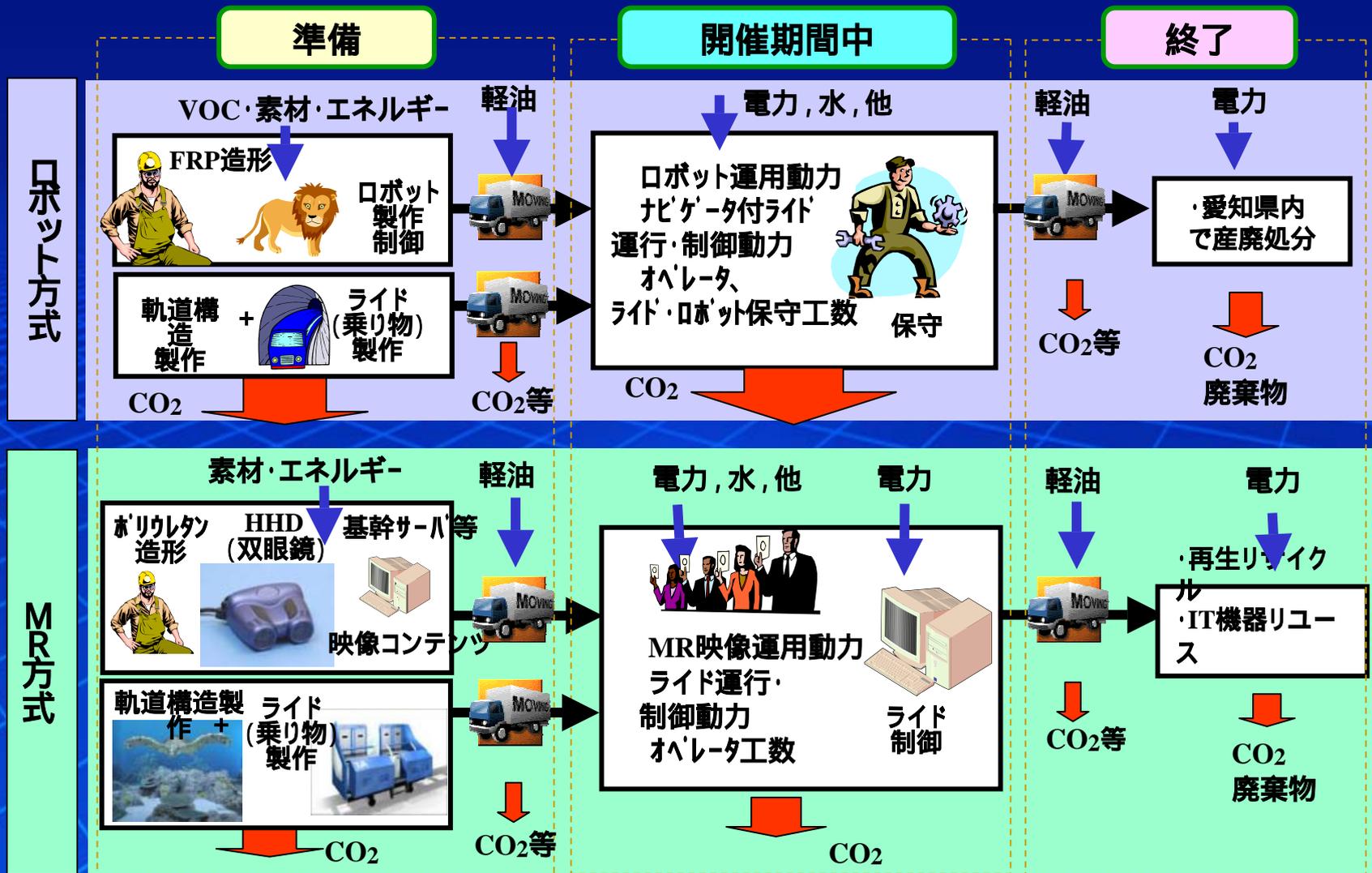
外部ウェイティングシステム：モデル化



プレショーシステム：モデル化



メインショーシステム：モデル化



ポストショーシステム：モデル化

準備

開催期間中

終了

バーコード+PDP方式

素材・エネルギー



軽油



CO₂等

電力,水,他

システム運用電力供給
PDP、プリンター稼働動力
配布スタッフ、システム保守工数

CO₂

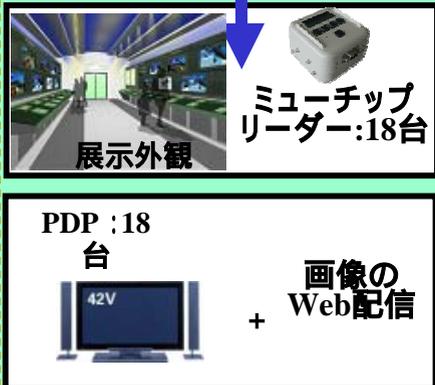
軽油



CO₂等

・愛知県内でリユース

素材・エネルギー



軽油



CO₂等

電力,水,他

システム運用電力供給
PDP稼働動力、Web配信負荷
システム保守工数

CO₂

軽油



CO₂等

・愛知県内でリユース

「ミューチップ」入場券+PDP方式

「日立グループ館の環境配慮は、合計441t-CO₂の削減が可能で、従来想定モデルに比べ環境負荷(CO₂排出量で評価)が59%少ない」

表1 評価結果と削減効果(単位t-CO₂)

システム名		従来システム	今回システム	削減効果
入場券システム		243	216	27 (-11%)
日立グループ館	外部ウエイティング	28	25	3 (-11%)
	プレショー	106	62	44 (-42%)
	メインショー	590	223	367 (-62%)
	ポストショー	44	17	27 (-61%)
	合計	768	327	441 (-59%)

削減効果(441t-CO₂)とは...

- (1) 標準的家庭の電力使用量を10kWh/日とすると約8万6千世帯分に相当(*1)
- (2) 森林によるCO₂吸収量(6.49t-CO₂ / ha・年)で計算すると約134 ha・年に相当(*2)

*1 単位は中部電力2002年度資料の(0.509kg-CO₂ / kWh)を使用。

*2 単位は環境省HP資料の(6.49-CO₂ / ha・年)を使用。